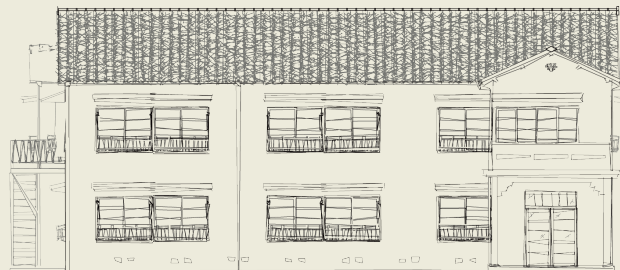


(仮称)マンガの聖地としまミュージアム 整備検討会議通信

2016.10

発行：豊島区 編集：文化観光課、株式会社丹青社



はじめに

かつて豊島区椎名町（現南長崎）にあったトキワ荘は、手塚治虫をはじめ藤子不二雄[Ⓐ]、藤子・F・不二雄、石ノ森章太郎、赤塚不二夫ら、現代マンガの巨匠が住み集い若き青春の日々を過ごしたアパートです。

現在、豊島区南長崎地域では、トキワ荘をはじめとするマンガによるまちづくりを区と地域が一体となって展開しています。これまでに、記念碑「トキワ荘のヒーローたち」などの様々なモニュメントや、散策拠点としての「トキワ荘通りお休み処」を整備するなどして、

マンガによるまちづくりは進められてきました。平成 27 年度には、「トキワ荘等に関する基礎調査」を実施し、失われつつあるトキワ荘のマンガ文化を記録し、トキワ荘の復元を視野に入れた情報収集を行いました。

豊島区は、こうしたマンガによるまちづくりの拠点となる施設として、地域から長年望まれていたトキワ荘復元（マンガ・アニメミュージアムの整備）を実現することとし、平成 28 年 9 月、「(仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議」を設置しました。本通信は、この検討会議の様子や進捗状況をお伝えするために発行するものです。



「(仮称)マンガの聖地としまミュージアム」整備計画の概要

■整備計画地

豊島区立南長崎花咲公園
(所在地) 南長崎 3-9-22

■整備スケジュール

平成 28 年度	基本計画策定
平成 29 年度	設計
平成 30～31 年度	工事
平成 32 年 3 月	開館

■基本的な考え方（案）

- ・マンガの聖地としまの象徴となる施設
- ・地域から愛される施設
- ・マンガ・アニメ文化を世界へ発信
- ・アミューズメント性のある施設

(仮称)マンガの聖地としまミュージアム
配置予定図



「第 1 回 (仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議」の報告

平成 28 年 9 月 8 日、豊島区役所において、第 1 回 (仮称)マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議が開催され、区長より選任された里中満智子座長、副座長に指名された秋田孝宏委員をはじめ、学識経験者、トキワ荘関係者、関係団体、地域団体代表、区職員、オブザーバーの計 24 名が参加しました。

はじめに高野区長より挨拶があり、引き続き里中座長からの挨拶の後、各委員の自己紹介が行われました。

その後、議論の前提となる「(仮称)マンガの聖地としまミュージアム」整備事業の概要に関する説明を踏まえ、各委員から意見や質問が出されました。

里中座長 挨拶

トキワ荘の魂を形にすべく、頑張りたいと思います。トキワ荘が解体されたのは非常に残念で、当時、なぜ何もできなかったのかという声が仲間たちにはありました。当時の情熱を知ることができる施設ができることをうれしく思います。できる限りの力を尽くして、素晴らしい文化を後世に残していきたいと思います。



委員の主な意見

- ・トキワ荘の復元は、トキワ荘について伝え聞いたことを実際に目にできるという点で、重要な意味を持つ。
- ・トキワ荘復元は象徴的なものである。地域としても応援しており、進めていていただきたい。
- ・トキワ荘での活動や当時の姿をそのまま再現してほしい。
- ・当時の室内を 10 部屋復元してほしい。
- ・木造のテクスチャーや昭和の建物のスケールを再現した復元ができるのか。
- ・トキワ荘の名前は出さず、「マンガミュージアム」として整備してはどうか。
- ・若い人、外国人に対して、トキワ荘の歴史的価値や意義を示せるものに。
- ・まちの活性化に必要な施設である。是非、子どもたちに開放して、マンガの文化・世界を知ってほしい。
- ・若い人がモノを作ることに、先人に学ぶ施設になれば良い。
- ・著作権の取扱いについてしっかりと対応すべき。
- ・収蔵機能を備えるべき。
- ・収蔵庫のレベルにより借用できる資料が変わる。他館の事例を調査すべき。
- ・マンガの原点であるトキワ荘と現在の池袋界隈との回遊を図るべき。
- ・お休み処とどのように連携するのか。
- ・これを機に商店街に人が戻ってくることを期待している。
- ・手塚治虫先生がマンガの神様なら、マンガの神社が必要ではないか。
- ・トキワ荘の外観にする場合、居住者全員が賛成であれば、プロダクションとして協力できる。

高野区長 挨拶

トキワ荘復元施設が、子どもから大人まで幅広い世代に親しまれるマンガ・アニメミュージアムとして完成することを期待しています。2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの際には、多くの外国人観光客が、マンガ・アニメに期待を持って南長崎に訪れることと思いますが、トキワ荘なくして、マンガ・アニメの原点を語ることはできません。

多くの来街者をこの南長崎に迎え、「マンガの聖地としま」を広く世界に向けて PR するために、このタイミングで本計画のスタートを切るしかない決断しました。皆様のご協力をいただきながら、本プロジェクトの成功に向け、進んでいきたいと思っております。

